



【主催】こども発達支援専門員

2026年 こども発達支援専門員 ～春の養成講座 説明会～

前半：講座概要の紹介(25分) / 後半：質疑応答(20分)

- ◆表示名を「名前・お立場」に変更をお願いします。(名前は仮名でも大丈夫です)
- ◆チャットは自由にお使いください。

一社)こども発達支援研究会
担当：前田智行

こども発達支援研究会の活動

研修事業



研究事業



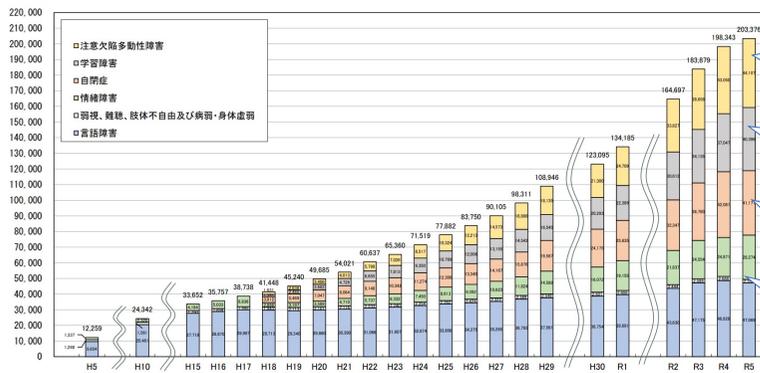
職員育成事業 子ども発達支援専門員



コミュニティ事業 こはスク



通級による指導を受けている児童生徒数の推移 (障害種別)



- 注意欠陥多動性障害
平成25年：10,324人
令和5年：44,107人
- 学習障害
平成25年：10,769人
令和5年：40,396人
- 自閉症
平成25年：12,308人
令和5年：41,171人
- 情緒障害
平成25年：8,613人
令和5年：28,274人

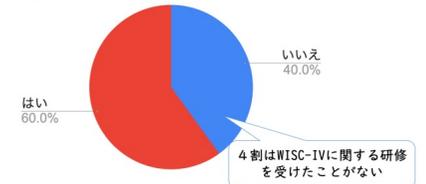
(出典)通級による指導実施状況調査(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課調べ)

支援者養成の課題

「【質問3】日頃、WISC-IVの検査結果・所見を見ることはありますか」のカウンタ数



「【質問2】今までWISC-IVに関する研修を受けたことはありますか」のカウンタ数



参考：通級指導教員42名へのアンケート(前田,2023)

特別支援の現場では知能検査の知見は必須
→現場の研修が追いついていない(福祉現場はさらに過酷)

【2026年】
子ども発達支援専門員養成講座 概要

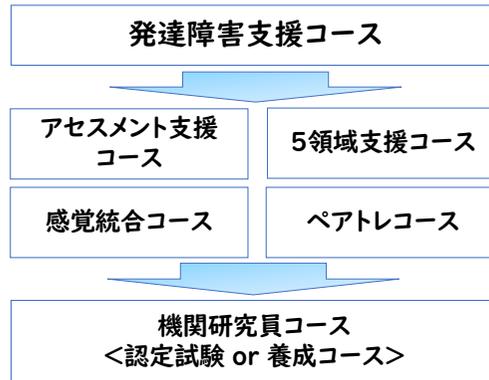
◆基礎をしっかりと学ぶ

◆発展的な内容を学ぶ

基礎・発展を修了
=専門員資格の認定

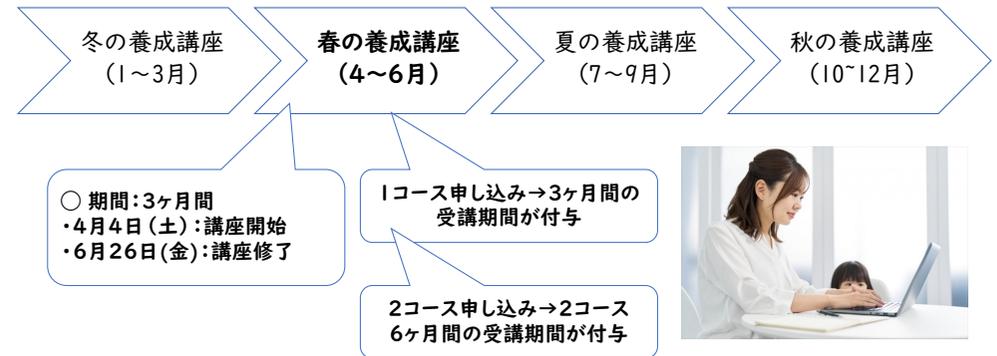
◆活躍の幅を広げたい支援者の方へ
※対象:支援現場で活動中の方限定

機関研究員コース合格
→機関研究員の登録&活動開始



5

年4回/3か月毎に開講



6

子ども発達支援専門員養成講座の特徴

エビデンス×現場での活用

ニーズに合わせたコース設定

オンラインで全国どこでも学習可能

キャリアにプラスとなる学び場の用意

7

子ども発達支援専門員養成講座の特徴
～エビデンス×現場での活用～



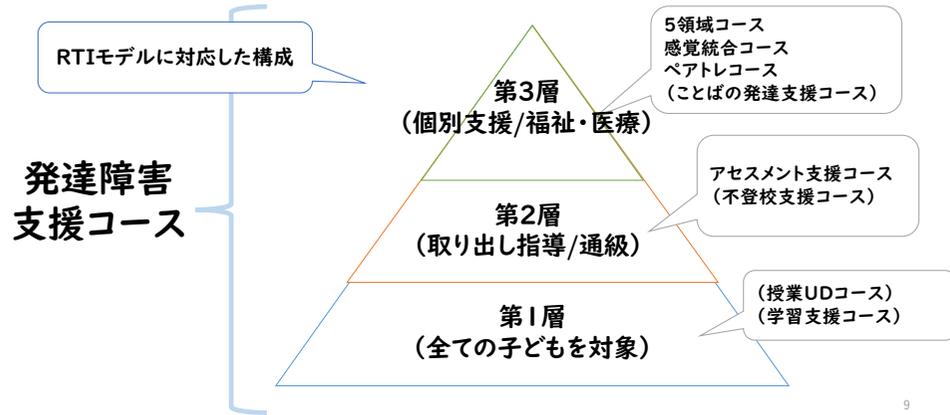
学術の知見を持った教育・福祉・医療
のメンバーが開発



現場で困りやすいポイントを押さえた
カリキュラム

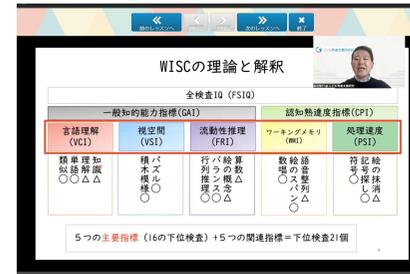
8

子ども発達支援専門員養成講座の特徴 ～ニーズに合わせたコース設定～



9

子ども発達支援専門員養成講座の特徴 ～オンラインで全国どこでも学習可能～



E-learningコース
(Elearning+WEBテスト)



ワークショップ演習コース
(実践的な内容を学習+レポート/3単位)

E-learning講座



講座タイトル

資料のダウンロード可能

講義動画クリック→再生
(速度変換:0.5倍~2倍)

講座終了後→修了テスト
(合格後、次のコースへ)

11

ワークショップ

「申込受付」をクリック

開講講座をクリック/申し込み

- 機関研究員WS (各回5名まで)
- 機関研究員対談セミナー (見逃しあり)
- 事例検討会
- 専門家セミナー
- 実践発表会 (フォローアップ)
- (交流会)

受講後レポートの提出
(3単位取得で合格)



12

冬季の専門家セミナー (春は日程調整中)

日時	講師	講演テーマ
4/5(日) 10:00~12:00	内田佳那先生 (日本学術振興会 特別研究員)	読み書きの苦手を抱える児童生徒へのICT機器支援
4/18(土) 20:00~21:30	阿部利彦先生(星槎大学教授) 上條大志先生(小田原市教育委員会)	援助を求める力を小学校でどう育むか
4/29(水・祝) 10:00~12:00	増田謙太郎先生 (東京学芸大学教授)	特別支援教育に関わる教員のための個別の指導計画・教育支援計画の作成と技法
5/2(土) 10:00~12:00	米田英嗣先生 (青山学院大学教授)	園・学校でASDの子どものための共感性を理解し、寄り添う支援を考える
5/30(土) 10:00~12:00	渡辺弥生先生 (法政大学文学部心理学科教授)	怒っている子供は本当は悲しい～子どもの感情リテラシーを理解して寄り添うためにできること～

現時点で決まっている先生になります。

その他の先生は決まり次第、ご報告させていただきます。

オンラインで全国どこでも学習可能 ～Eラーニングカリキュラム～

3つの特徴

Eラーニングは1回15～20分
→短時間で集中して学習

講座毎に確認テスト(複数回受講可)
→知識の定着

講義の中には演習も配置

◆(基礎)発達障害支援コース(対象:発達支援従事者)
発達障害支援概論
応用行動分析概論
認知行動療法概論
自閉スペクトラム症概論
ADHD支援概論
限極性学習症の支援
知的障害・知的発達症の支援
コミュニケーション症の支援
チック症・トゥレット症の支援
発達性協調運動症の支援
知的障害概論
二次障害概論概論
場面緘黙症概論
ソーシャルスキルトレーニング概論

14

オンラインで全国どこでも学習可能 ～Eラーニングカリキュラム～

◆(発展)アセスメント支援コース	◆(発展)5領域コース
対象: 年中～中学生の支援に関わっている支援者・教員	対象: 児発・放デイ職員 5領域に沿った個別支援計画の立て方を学びたい方
発達支援におけるアセスメントの理論	5領域と個別支援計画の基本
WISCの理論～主要指標～	個別支援計画を立てる5つのステップ
WISCの理論～下位検査～	「健康・生活」領域の理論と実践
WISCの解釈①	「運動・感覚」領域の理論と実践
WISCの解釈②	「認知・行動」領域の理論と実践
SP/感覚プロフィールの理論	「言語・コミュニケーション」領域の理論と実践
SP/感覚プロフィールの解釈①	「人間関係・社会性」領域の理論と実践
適応行動の理論～Vineland-II～	個別支援計画を運用するポイント(環境調整と人材育成)
適応行動の解釈	事例から考える支援を標準化するポイント

15

オンラインで全国どこでも学習可能 ～Eラーニングカリキュラム～

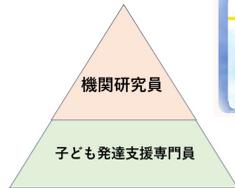
◆(発展)感覚統合コース	◆(発展)ペアトレコース
対象: 運動療育に興味のある支援者(0~18歳)	対象: (2歳~10歳)保護者に関わっている支援者
感覚統合の理論と支援	保護者支援の理論
原始感覚の理論と支援	ペアトレ概論
識別感覚の理論と支援	ペアトレ①「行動を3つに分ける」
DCDの理論と支援	ペアトレ②「望ましい行動への対応」
身体発達の理論と支援	ペアトレ③「できればやめてほしい行動への対応」
身体感覚のアセスメント	ペアトレ④「やめてほしい行動への対応」
ケーススタディ	ペアトレ⑤「園・学校との連携」
ケーススタディ	ファシリテーション概論①
修了テスト	ファシリテーション概論②
	付属資料解説

16

機関研究員とは？

機関研究員コースに合格
→機関研究員として契約&就任

- ▶ 各種講演・研修のご依頼
- ▶ 年次大会での活動
- ▶ 書籍・記事の執筆依頼
- ▶ ペアレントトレーニング講師依頼
- ▶ 教材開発/学習支援教材等の開発
- ▶ こはスク内での活動
- ▶ 共同研究の提案・推進



各種活動には報酬も設定

個人の活動も積極的に応援!

17

機関研究員とは？



シンポジウムの様子



実践事例・研究成果のポスター発表

リアルな場での交流



ワークショップ



18



オンラインで全国どこでも学習可能 ～Eラーニングカリキュラム～

子ども発達支援専門員の合格者への案内

◆機関研究員養成コース

対象: 発達支援の現場で働いている支援者
講師と3ヶ月間課題をこなしながら合格を目指します

(初回)講師ミーティング

グループディスカッション

グループディスカッションレポート

事例検討概論①

事例検討演習②

実践発表概論①

実践発表演習②

(最終)講師ミーティング

機関研究員 認定試験

(試験内容)

- ・ 筆記試験 (WEBテスト)・論述 (WEBテスト)
- ・ 面接 (オンライン面接)

(日時)

6月21日(日) 予定

・午前 9:30～12:30/午後 個別で設定 (30分間)

(費用)

専門員合格者は初回無料 (2回目以降は有料)



19

講座修了後～2つの案内～



修了証の送付



修了生コミュニティ『こはスク』の
無料参加チケット

20

現在までの受講者

(2020年～2026年現在)

- ◆現在までの受講生: 約1100名
- ◆子ども発達支援専門員合格者: 約500名
- ◆機関研究員: 130名



21

受講生の声

本講座で巡り合った、1つひとつの知識や出来事は、教員が「安心感」を提供するための大事な裏付けになるものです。教員一人ひとりが、困難な状況を抱えながらも、明るく前向きに、子どもたちや保護者に向き合うことができ、良質な「安心感」を与えられるかがカギになっていると感じています。

(30代/小学校特別支援学級担任)



教育現場では支援が必要な子を目の前にしても、専門的な知識を一から詳しく学ぶ機会がないので、この講座で学んだ知識は今後の教員人生で大いに役立つと思います。一つの講座が短時間で区切られていること、チェックテストで振り返ることができたことなど、学びやすい設定もすごくよかったです。

(40代/中学校 特別支援級担任)



22

受講生の声

どのように勉強すればいいのかわからず、手あたり次第に本を読んだり講演を探したりしている時に友人からの紹介でこの講座を知りました。子どもにかかわる大人の一人として、将来を担う子どもへの責任から、確かな知識を得てより適切に関わっていきたくて思っていました。この講座受講は私にとってモチベーションの維持向上につながっています。(40代/保育士)



今回発達障害について基礎から学び直しをさせて頂いた事で一人一人のお子さまについてより深く観察したい、ご家族と発達障害や二次障害について共に理解を深めたいという自信と前向きな気持ちが芽生えました。基礎に立ち返り、資料を振り返りながら実践に活かしていきます。前田先生の講義は事例を交え、大変わかりやすいテンポでお話下さり、毎回の学びが楽しかったです。(30代/児発管)



23

受講生の声

最新の知見をわかりやすく教えて頂き、感謝しています。具体的な支援方法など、書籍を読んでも分からないことが多く、前田先生の経験談を交えたお話がとても参考になりました。日々の業務が忙しく、この発達障害支援コースを受講することで限られた時間で効率よく勉強することが出来てありがたかったです。(40代/精神科 作業療法士)



講義では、事例を交えながらご説明いただいたことで、実際の支援に取り入れやすく、非常にわかりやすかったです。また、ワークショップでは、意見交換のなかで毎回新しい発見があり、視野が広がったと感じました。様々な職種、職域の方と話せたことも貴重な機会になりました。(50代/保健師)



24

受講費用

受講コース	内容	受講期間	費用	こはスク無料期間
基礎コース	発達障害支援コース	3ヶ月	49,800円(税込54,780円)	1年間 (終了後:月額550円)
発展コース	ペアトレコース 感覚統合コース	3ヶ月	57,800円(税込63,580円)	1年間 (終了後:月額550円)
	アセスメント支援コース 5領域コース	3ヶ月	76,800円(税込84,480円)	
機関研究員 養成コース	機関研究員養成コース	3ヶ月	31,800円(税込34,980円)	永年無料

こはスク一般価格(月額2,980円)

25

終わりに

発達支援をもっと楽しく



26